

## 山岳観光を支える道路管理 「安曇野の山岳観光を守る」



安曇野建設事務所

県道 槍ヶ岳矢村線(通称中房線)は、北アルプスの玄関口となる中房登山口へ向かう唯一の道路です。

道路を安全に通行するための維持管理について、ご紹介します。



近年、長野県へ訪れる登山者は、年間「71」万とされています。



## 男女や世代を問わず 登山者 増加傾向

(長野県H26登山者数 71万人)  
長野県警察 山岳遭難統計より



## 中房登山口に訪れる (地元山岳関係者 聞き取り) 登山者・観光客 年間約4万5千人



県道槍ヶ岳矢村線(通称中房線)は、中房登山口へ通ずる唯一の道路

安曇野市には、北アルプスへの玄関口が、三つあります。

- ・中房登山口(燕岳方面)
- ・一ノ沢登山口(常念岳方面)
- ・三股登山口(蝶ヶ岳方面)

県道 槍ヶ岳矢村線(通称中房線)は、中房登山口へ通ずる唯一の道路で、安曇野市の山岳観光を担う重要な道路となっています。



観光関係者を中心に「中房線・道路愛護会」を発足し、夏には、草刈り、秋には、側溝清掃・落葉清掃など、市や建設事務所の職員を含め、会員約70名で毎年、実施しています。

中房線が、常に「安全通行」できるよう、みんなで、力を併せて道路の維持管理を行っています。



夏の愛護活動

中房線道路愛護会

昭和33年発足

57年の歴史

【会則を資料に添付しました】

秋の愛護活動

情報交換や  
連携の強化を図る

落石発生源

安曇野署と連携  
交通規制開始

落石発生

平成26年5月3日(土)  
午後5時30分ごろ

至 中房温泉

↓

中房線は、山岳道路で地形が峻です。

ゴールデンウィーク中の平成26年5月3日(土)午後5時30分ごろ「西中小屋沢」で落石が発生しました。

この時、山小屋や旅館に、約40名の宿泊客がいて、翌日の4日(日)、中房登山口から下山する登山客は、約200名でした。。



翌日、「早い時間の」交通開放をめざし、4日「早朝」から、復旧作業に着手しました。

午後2時に、監視員を配置し、交通開放する事ができました。

テレビ・新聞により、この交通開放が報じられ、風評被害もなく、いつものとおり中房登山口から、多くの登山客が、「北アルプス」をめざしました。



監視員を配置し、交通開放

翌日 4日(日) 14時から

至 中房温泉

↓

4日の復旧作業状況



## 中房線道路愛護会(総会)

### 観光関係 経営者などからの声

- 日頃の連携により、情報の共有ができ、混乱が生じなかった。
- 迅速な対応により、早期交通開放ができ、観光への影響が無かった。
- 復旧工事により、安全な道路が確保された。

山岳観光が守られ、  
本当に良かった。



落石発生後の「愛護会」定期総会で、会長の宮沢安曇野市長を初め山岳観光関係者から「情報の共有ができ、混乱が生じなかった」「早期交通開放ができ、観光への影響が無かった」「復旧工事により、安全な道路が確保された。」など、感謝の気持ちなどが伝えられました。



これからも、北アルプスへ多くの方にお出でいただけますよう、官と民の「連携」「協力」をさらに強くし、安全、安心な中房線となるよう、維持、管理を行ってまいります。

是非、北アルプスへお越しください。お待ちしております。



## 燕岳山頂

道路の維持管理を通じ山岳観光を守る



写真提供 一般社団法人安曇野市観光協会